

砂防の仕事ってどんなこと？

樽前山が噴火し泥流が発生すると、苫小牧市一帯に大きな被害を及ぼすことが予想されています。

さらに、本道の生活や産業を支える鉄道、高速道路、国道、空港、港湾などにもその被害が及び、本道のみならず全国の社会機能に与える影響も甚大なものになるおそれがあります。

被害を軽減する上で噴火が起きる前の対策が重要ですので、国では平成6年度に樽前山の直轄火山砂防事業に着手しました。特に大量の泥流が流れ、大きな被害の発生が想定される溪流に対して、砂防設備の整備を進めています。

活火山である樽前山の近くには、北海道の海と空の玄関としての苫小牧港や新千歳空港が位置しています。



樽前山

JR室蘭本線



監視設備



赤外線監視カメラ

樽前山火山対策防災拠点



工事の予定



火山が噴火した時に泥流をせき止め貯める施設や、災害時に現地対策基地として利用する施設を整備しています。